

(茨城県連合支部) 認知症薬製造プロセス開発に関する講演会と昼食会のご案内

2024(平成6)年12月11日
群馬大学工業会茨城県連合支部
支部長 中村 啓夫
幹事 相原 賢

1. 講演会

- 題目: 医薬品開発事例及び最近の医薬品開発事情の紹介
ーアルツハイマー型認知症治療薬 アリセプト原薬(ドネペジル塩酸塩)の事例ー
- 講演者: 今井昭生氏(S60P)(南支部会員)
- 日時: 2025(令和7)年1月25日(土) 11:00~12:00
- 場所: 水戸市駅南 プレジデントホテル水戸 12Fバンケットルーム
(水戸駅南口から徒歩7~8分, 水戸市城南2-2-2, Tel. 029-300-1112)

この度、群馬大学工業会茨城県連合支部の2024年度の活動として講演会を計画いたしました。
ご講演は、これからの我々にとって大変貴重な内容のお話と思います。多くの方の御参加をお願いいたします。

【今井様経歴】

1985(昭和60)年、エーザイ(株)に入社、現在、勤務40年目を迎える。1987(昭和62)年~2002(平成14)年にかけてアルツハイマー型認知症治療薬アリセプト原薬(ドネペジル塩酸塩)の工業的製造法を開発・確立した。同治療薬の工業的製造法の開発は、認知症患者の救済に貢献している。

【今井様からのコメント】

アルツハイマー型認知症治療薬であるドネペジル塩酸塩(商品名アリセプト)は、1997年に米国で発売が開始された後、世界各国で承認され(2010年10月度時点:97カ国で承認)、2008年度には売上高3000億円を超える製品に成長した。ドネペジル塩酸塩は、1986年12月にmedicinal chemistによって初めて合成された後、筆者らprocess chemistsにより製造プロセス開発が精力的に進められ、現在の工業的製造法が確立するに至った。大型製品となったドネペジル塩酸塩も、最大市場である米国で物質特許の満了(2010年11月)を迎えた後にジェネリックの発売が始まり、日本市場(2011年6月物質特許満了)、欧州市場(2012年2月物質特許満了)でも多数のジェネリックメーカーがドネペジル塩酸塩の発売を開始した。その結果、2008年度に3000億円を超えた売上高も2017年度には443億円にまで減少するに至った。本講演では、新薬とジェネリック医薬品との競合について解説するとともに、昨今の医薬品開発事情についても紹介する。

2. 昼食会

講演者との懇談ができるように同じホテルで準備しております。時間の許す方はご出席をお願いします。

- 時間: 12:00過ぎ~14:00
 - 場所: プレジデントホテル 12Fバンケットルーム
講演会と同じホテルの中華料理店 "ふう"の中華風弁当など。
 - 会費: 2,000円
- ※御参加の際、会場へは極力公共交通機関をご利用下さい。
- 参加ご希望の方は以下に御連絡ください。
中村啓夫(修S48M):メール nakamura4614@dream.jp Tel 080-5401-4924
★申込期限: 12月30日

【参加を希望される方は下記ご記入ください】

講演会: ご出席 ご欠席 / 昼食会: ご出席 ご欠席

氏名	卒年・学科	住所	電話番号	Mail アドレス	最寄り駅